

市民公益活動ポイント制度 裏面アンケート集計結果について

1 アンケートの実施目的

平成 28 年度第 3 回市民協働審議会 (平成 29 年 1 月 7 日開催) において、この制度に求められる「きっかけ」の視点からの効果を図るため、「新規参加者の把握と増加に向けた検討が必要である」ことを課題として提示している。

この制度を通して、「きっかけ」の視点から市民公益活動への参加者が増えたかどうかを検証することを目的として、ポイント券の裏面を活用し、活動の参加者 (=ポイント券をもらった人) を対象にアンケート調査を実施した。

2 アンケート実施方法

平成 29 年度発行分のポイント券裏面に、アンケート欄 (「ポイント券をもらったのは初めてですか?」) を設け、平成 29 年度中に使用された分について、回答 (「はい」「いいえ」「無回答」) を集計した。なお、質問への回答は任意であった。

3 アンケートの集計結果

(1) 集計対象と集計期間

平成 29 年度発行分ポイント券のうち、平成 29 年度 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日) に施設や寄附換金に使用されたもの。

(2) アンケート集計結果

① 回答の有無について

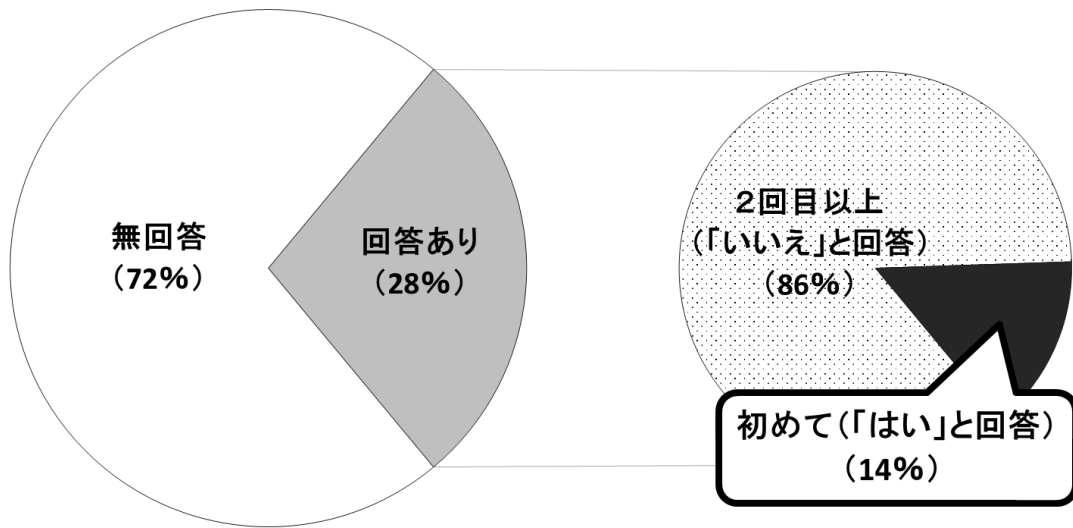
回答の有無	回答あり	無回答	合計
枚数 (割合)	2,825 (28%)	7,296 (72%)	10,121 (100%)

(参考) 平成 29 年度発行分ポイント券のうち、団体から活動者へ配付されたポイント券は 17,809 枚

② 回答があったもののうち、ポイント券をもらうのが初めてか否か

「ポイント券をもらったのは初めてですか?」	初めて (「はい」と回答)	2 回目以上 (「いいえ」と回答)	合計
枚数 (割合)	409 (14%)	2,416 (86%)	2,825 (100%)

【ポイント券裏面アンケート集計結果】



(3) 結果から読み取れること

① 平成 29 年度に利用されたポイント券 10, 121 枚のうち、アンケートへの回答があったのは 2, 825 枚 (28%) であった。

回答のあった中で、「ポイント券をもらったのは初めて」と回答したのは 409 枚 (14%)、「いいえ (2 回目以上)」と回答したのは 2, 416 枚 (86%) だった。

② 「ポイント券をもらったのが初めて」よりも、ポイント券をもらうのが 2 回目以上の方が多くことから、ポイント制度は市民公益活動を継続的に行っている方に利用されていることが伺える。

③ 一方で、「ポイント券をもらったのが初めて」の方は 14% であるが、一定数存在することがわかった。

「初めて」と回答できるのは 1 回限りなので、「いいえ (2 回目以上)」と回答した方の中には、ポイント券が「きっかけ」となって市民公益活動を始め、その後も継続している方が含まれている可能性もある。

4 平成 27、28 年度における効果の検証について（参考）

（平成 28 年度 第 3 回 横須賀市市民協働審議会 資料 1 抜粋）

（1）この制度に求められる効果

新規か継続かを問わず、市民公益活動への参加者が増えること。

（2）ヒアリングの実施

ポイント券交付団体の一部に対し、市民生活課担当者が活動の現場視察及び簡易ヒアリングを行った。

※ヒアリング対象団体：平成 27 年度 20 団体（47 団体中）
平成 28 年度 16 団体（53 団体中）

①「励み」の視点からの意見

- ・ポイント券を配ることで、活動参加者から感謝されている。
- ・仕事が忙しく、団体からの退会を希望していた会員がいたが、ポイント券が貰えるということで退会を思いとどまった。
- ・公的制度で定められたポイント券の配付によって、参加者の意識が高まってきた。
- ・会員が定期的にポイント券を飲食店で利用しており、それでまた活動を頑張ろうという気持ちになっている模様。
- ・寄附により団体の活動資金として使えることは、会員としても励みになる。



一定の効果が上がっている

②「きっかけ」の視点からの意見

活動参加の「きっかけ」としては、ヒアリングで「ポイント券配付活動として（新たな）問合せがあったり、参加者が増えたりしたか」という質問に対し、いずれも「なし」という回答だった。



新規参加者の把握と増加に向けた検討が必要